



クラブスローガン
～親睦から奉仕へ・
奉仕から友情へ～



国際ロータリー第2630地区 岐阜Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

2013-14 RI テーマ

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

平成 25 年 12 月 3 日(火)

第1084回例会 第1006号

会 長 森 井 脩 次
幹 事 渡 辺 成 洋
発 行 公共イメージ委員会
例 会 火曜日 12 時 30 分
会 場 岐阜都ホテル
事務局 岐阜市神田町 2-2
電 話 058-264-9235

会 長 挨 拶

会長 森井脩次



皆さん、こんにちは。

国際奉仕委員会の国際交流を目的とした現地調査にフィリピンのダバオへ11月15～18日までの3泊4日の予定で、安藤さん、柴田さん、加納さん、渡辺さんと私の5名で行くこととなっていました。私が急用にてキャンセルをし、4名の方々に現地へ行ってもらいました。私が現地へ行くことができませんでしたので、内容については後ほど加納国際奉仕委員長より卓話にてお話をいただきます。今回は大変ご迷惑をおかけしました。次回は是非参加したいと思っています。

また、11月20日に岐阜ABグループ合同のAGセミナーが夜6時30分より8時30分までの2時間ありまして、わがクラブより8名の方々に出席していただきました。

セミナーの内容は職業奉仕に関して、服部パストガバナーが約1時間、講演をされました。残りの1時間は会員増強活動について話があり、どのクラブも会員が減少している現状で、クラブ全員で増強活動に『力』を入れて下さいとのことでした。出席いただきました方々、大変お疲れさまでした。

11月20日の岐阜新聞朝刊にわがクラブの榎森公園の清掃活動作業の写真および記事が掲載されていました。野尻さんが岐阜新聞と連絡を取ってくださいました。岐阜中ロータリークラブのPRになりました。ありがとうございました。

以上にて今回の挨拶とさせていただきます。

中長期ビジョンについて

1.会員数50名のクラブ(長期目標)

現在(第24期)の会員数30名(出席免除会員3名を含む)を第30期末には創立時の50名を目標とする。それには会員増強担当委員会のみならず、全会員が増強意識を高く持って事に当たらなければ達成できない目標である。

2.全会員がロータリーの綱領をよく理解し、円滑で積極的な運営を図るクラブ

<全員がロータリーの綱領をよく理

解するとはどのようなことをいっているのか>

現在、当クラブは夜間の懇親例会等の出席率は通常例会に比べ高い傾向がみられる。即ち、クラブ奉仕の親睦活動は、会員によく理解されているようである。しかし、ロータリークラブ本来の奉仕活動に対する理解が足りないのではないかと。ご存知の通り、ロータリアンは限られた地域の限られた職業の中で選ばれし人々の集まりであることを忘れてはならない。よって単なる親睦団体ではなく、崇高な理念のもとに私たちは行動をともにしている仲間だという意識を強く持ち、クラブ運営に努める。

<円滑で積極的なクラブ運営とは>

上記のように会員がロータリーの奉仕の精神を理解し、その意識が高まれば、自ずと円滑な事業が展開されると思われる。しかし、積極的なクラブ運営となると毎年事業の見直しをしっかりと実施し、事業のマンネリ化を防ぐことが必要と思われる。

2.例会出席率100%を实践するクラブ

例会出席率100%とは、出席補正を含めた100%を意味するものである。このビジョンもロータリーの綱領を理解できていれば、出席率も自ずと上がると思われる。

前 例 会 の 記 録

第1083回

平成25年11月26日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 手に手つないで

[ゲスト]

[ビクター]

[出席] 会員総数30名(出席免除3名)

本日出席21名 80.00%

[行事] 国際奉仕事業視察報告

担当 国際奉仕委員会

次 回 予 定

第1085回

平成25年12月10日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話

担当 直前幹事

以上、当クラブの現状と問題点を踏まえ、ビジョン実現のためのプロセスを中期（3年）、長期（6年後創立満30年）に分け、次年度以降のクラブ運営の方向性を提案していたきたい。

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 加納永一郎



フィリピン第二の都市ダバオ近郊のニューコレリア町にて、現地視察を実施。そのニューコレリア町にて、地元の受け入れ団による歓迎を受けて、引き続き、近くの集会場にて町長と対面した。ここでは町の現状等を聴き、血圧計をプレゼントし、軽食をいただいた。その後、リゾートエリアへ案内していただき、そこでは自然にできたプールや洞窟を見学

した。その夜、タヌグのロータリアンたちと交流を深めた。タヌグのロータリアンたちは平均年齢が40代でその活動（特に週報）にも学ぶことが多々あった。

翌朝、宿泊先のマルコポーロホテルにてブレックファストミーティングを開催、当地ではロータリアンの奥様も参加しており、とても活気のある活動であった。

とても有意義な視察旅行であり、健康促進を奉仕事業とし血圧計等を贈呈することはよいことであるが、これを国際奉仕としての継続事業として取り扱っていくか？という、まだまだ検討、検証する必要がある。

親睦委員会 委員長 故金正司



本日、クリスマス例会（12月25日

（水）の計画を親睦委員会にて開催いたしました。皆さまからの提案がありましたらアイデアをお出し下さい。

また、昨日、3クラブ合同例会の打ち合わせがありました。来年2月に十八楼にて開催されます。西クラブ、本巣クラブとの交流を楽しみにご参加下さい

米山功労者の表彰 三宅裕樹会員

